

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社シイエム・シー

コード番号 2185 URL <http://www.cmc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐々 幸恭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 成田 克己

TEL 052-322-3351

四半期報告書提出予定日 平成25年5月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	7,180	△5.5	370	△50.2	407	△46.8	204	△43.5
24年9月期第2四半期	7,599	30.6	743	221.3	766	200.3	361	239.9

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 288百万円 (△11.2%) 24年9月期第2四半期 325百万円 (187.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	91.06	90.58
24年9月期第2四半期	161.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	12,132	8,681	71.5
24年9月期	12,107	8,528	70.4

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 8,676百万円 24年9月期 8,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	70.00	70.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,350	△4.2	710	△42.3	763	△40.5	348	△34.3	155.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	2,243,600 株	24年9月期	2,243,600 株
25年9月期2Q	278 株	24年9月期	278 株
25年9月期2Q	2,243,322 株	24年9月期2Q	2,243,364 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景に弱い動きで推移していたものの、年明け以降、持ち直しの動きが見られております。先行きについても、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果などを背景に、マインドの改善にも支えられ、次第に景気回復へ向かうことが予想されます。ただし、引き続き海外景気の下振れが、我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、雇用・所得環境の先行き等にも注視が必要な状況であります。

このような経済環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,180百万円(前年同期比418百万円減、同5.5%減)、営業利益は370百万円(前年同期比373百万円減、同50.2%減)、経常利益は407百万円(前年同期比359百万円減、同46.8%減)、四半期純利益は204百万円(前年同期比157百万円減、同43.5%減)となりました。

これをセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

(マーケティング事業)

インターナル・マーケティングは、自動車関連分野における技術教育施策案件や業務支援システム案件の減少、金融関連分野における業務支援施策案件の減少の影響などにより、売上高は846百万円(前年同期比103百万円減、同10.9%減)となりました。

エクスターナル・マーケティングは、自動車関連分野におけるブランド浸透施策案件の増加、医療関連分野におけるスマートデバイス対応の販促案件の増加、住宅関連分野における販促イベント案件の増加などがあり、売上高は703百万円(前年同期比163百万円増、同30.3%増)となりました。

カスタマーサポート・マーケティングは、工作機械分野における使用説明書の案件増加があったものの、自動車関連分野において前期好調であった修理書・使用説明書について、中国を仕向地とするものを中心に案件の減少などがあり、売上高は3,839百万円(前年同期比275百万円減、同6.7%減)となりました。

トータルプリンティングは、修理書・使用説明書の印刷が減少し、売上高は803百万円(前年同期比51百万円減、同6.0%減)となりました。

その他については、コンビニエンスストア売上、丸星株式会社の業務委託等があり、売上高は239百万円(前年同期比16百万円増、同7.2%増)となりました。

これらの結果、マーケティング事業の売上高は6,431百万円(前年同期比251百万円減、同3.8%減)、営業利益は444百万円(前年同期比377百万円減、同46.0%減)となりました。

(システム開発事業)

ソフトウェア受託開発を主力とするシステム開発事業は、主要なお取引先からの受注案件の減少にともない、売上高は748百万円(前年同期比167百万円減、同18.3%減)となりました。営業利益は15百万円(前年同期比5百万円増、同49.9%増)となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より25百万円増加し、12,132百万円(前連結会計年度末比0.2%増)となりました。これは主として、現金及び預金の減少788百万円があったものの、受取手形及び売掛金の増加840百万円によるものであります。

②負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より127百万円減少し、3,451百万円(前連結会計年度末比3.6%減)となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加328百万円があったものの、未払法人税等の減少242百万円、流動負債のその他の減少191百万円によるものであります。

③純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末より152百万円増加し、8,681百万円(前連結会計年度末比1.8%増)となりました。これは主として、利益剰余金の増加65百万円、為替換算調整勘定の増加50百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ788百万円減少し、2,811百万円(前連結会計年度末3,599百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは306百万円の支出(前年第2四半期連結累計期間794百万円の収入)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益411百万円の収入、仕入債務の増加285百万円があったものの、売上債権の増加767百万円、法人税等の支払額422百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは353百万円の支出(前年同期283百万円の支出)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出233百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは178百万円の支出(前年同期136百万円の支出)となりました。これは主として、配当金の支払額156百万円によるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月7日付「平成24年9月期決算短信」で発表いたしました数値を変更しております。詳細は、平成25年5月8日発表の「第2四半期累計期間業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正にともない、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更により、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,599,731	2,811,415
受取手形及び売掛金	2,355,630	3,195,644
たな卸資産	701,788	694,885
その他	368,421	347,366
貸倒引当金	△2,772	△4,414
流動資産合計	7,022,799	7,044,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	521,970	502,134
機械装置及び運搬具(純額)	389,763	396,590
土地	1,790,655	1,790,655
その他(純額)	90,995	95,850
有形固定資産合計	2,793,384	2,785,231
無形固定資産		
のれん	961,963	870,348
その他	330,843	362,628
無形固定資産合計	1,292,806	1,232,977
投資その他の資産		
その他	1,009,588	1,080,709
貸倒引当金	△11,148	△10,905
投資その他の資産合計	998,440	1,069,804
固定資産合計	5,084,631	5,088,012
資産合計	12,107,431	12,132,910
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	953,175	1,281,276
未払法人税等	439,805	197,060
賞与引当金	468,920	435,223
役員賞与引当金	96,942	36,486
その他	662,715	471,280
流動負債合計	2,621,558	2,421,327
固定負債		
退職給付引当金	695,247	753,951
役員退職慰労引当金	258,291	274,016
その他	3,470	2,100
固定負債合計	957,010	1,030,069
負債合計	3,578,569	3,451,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,770	529,770
資本剰余金	443,430	443,430
利益剰余金	7,565,289	7,630,893
自己株式	△488	△488
株主資本合計	8,538,001	8,603,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,035	53,039
為替換算調整勘定	△31,175	19,541
その他の包括利益累計額合計	△9,140	72,581
少数株主持分	—	5,327
純資産合計	8,528,861	8,681,514
負債純資産合計	12,107,431	12,132,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	7,599,006	7,180,218
売上原価	5,264,792	5,133,650
売上総利益	2,334,213	2,046,567
販売費及び一般管理費	1,590,518	1,676,549
営業利益	743,695	370,017
営業外収益		
受取利息	515	1,069
受取配当金	492	655
受取保険金	3,167	3,852
作業くず売却益	7,735	7,177
為替差益	5,362	16,226
その他	7,950	9,474
営業外収益合計	25,224	38,456
営業外費用		
支払利息	338	235
固定資産除却損	224	246
その他	1,382	21
営業外費用合計	1,946	503
経常利益	766,973	407,969
特別利益		
固定資産売却益	1,311	3,723
その他	35	—
特別利益合計	1,346	3,723
特別損失		
固定資産売却損	—	155
減損損失	7,352	—
特別損失合計	7,352	155
税金等調整前四半期純利益	760,967	411,537
法人税、住民税及び事業税	375,889	187,629
法人税等調整額	23,252	19,514
法人税等合計	399,141	207,143
少数株主損益調整前四半期純利益	361,825	204,394
少数株主利益	—	115
四半期純利益	361,825	204,279

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	361,825	204,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,690	31,004
為替換算調整勘定	△48,270	53,565
その他の包括利益合計	△36,579	84,569
四半期包括利益	325,245	288,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,245	288,408
少数株主に係る四半期包括利益	—	555

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	760,967	411,537
減価償却費	101,372	147,074
減損損失	7,352	—
のれん償却額	91,615	91,615
退職給付引当金の増減額(△は減少)	46,784	58,703
貸倒引当金の増減額(△は減少)	565	1,398
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,937	△35,019
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,054	△60,456
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16,066	15,725
受取利息及び受取配当金	△1,007	△1,724
支払利息	338	235
為替差損益(△は益)	5,625	4,117
固定資産売却損益(△は益)	△1,311	△3,567
売上債権の増減額(△は増加)	△473,920	△767,305
たな卸資産の増減額(△は増加)	56,672	57,823
仕入債務の増減額(△は減少)	327,610	285,091
その他	67,947	△90,131
小計	977,687	115,117
利息及び配当金の受取額	415	1,810
利息の支払額	△2,851	△235
法人税等の還付額	14,653	—
法人税等の支払額	△194,948	△422,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	794,956	△306,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△100,521	△233,355
有形固定資産の売却による収入	4,200	7,517
無形固定資産の取得による支出	△178,805	△86,329
投資有価証券の取得による支出	△735	△752
子会社株式の取得による支出	—	△19,404
長期貸付けによる支出	—	△20,119
その他	△7,810	△774
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,673	△353,219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△110	—
配当金の支払額	△133,831	△156,590
その他	△2,424	△21,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,366	△178,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,389	19,400
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	350,527	△818,223
現金及び現金同等物の期首残高	2,162,443	3,599,731
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	29,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,512,971	2,811,415

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	マーケティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,682,839	916,166	7,599,006	—	7,599,006
セグメント間の内部売上高 または振替高	7,385	9,460	16,845	△16,845	—
計	6,690,224	925,627	7,615,851	△16,845	7,599,006
セグメント利益	821,936	10,075	832,012	△88,316	743,695

(注)1 セグメント利益の調整額△88,316千円には、セグメント間取引消去3,298千円、のれんの償却額△91,615千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	マーケティング 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,431,792	748,425	7,180,218	—	7,180,218
セグメント間の内部売上高 または振替高	8,298	20,046	28,344	△28,344	—
計	6,440,090	768,472	7,208,563	△28,344	7,180,218
セグメント利益	444,130	15,102	459,233	△89,215	370,017

(注)1 セグメント利益の調整額△89,215千円には、セグメント間取引消去2,400千円、のれんの償却額△91,615千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正にともない、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更により、セグメント利益または損失に与える影響は軽微であります。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

該当事項はありません。